

社
SHA

楽
RAKU

神奈川県立川崎図書館 が所蔵する
全国有数の〈社史コレクション〉を
さらに活用していただくため、
社史の使い方や、社史の楽しさ、
社史情報などをお届けしていきます。

Vol.46

2015/10

6月24日から27日に、社史フェア2015を開催しました。前年に刊行された当館所蔵の社史を展示するイベントです。昨年の初開催に続き、二度目の今年は2014年刊行の社史を展示しました。今号の社楽は「社史フェア振り返り号」と題して、社史担当の高さん、青ちゃん、松っさんの3人で座談会を行いました。

松—2回目の社史フェアが無事終了しましたね。今年度も前回と同じスタッフで頑張りました。

高—準備で大変だったのは何ですか？
青—社史の内容を紹介する吹き出しのコメントを考えることですね。昨年には



▲会場の様子（初日の午後）

松—吹き出しを書くことでより深く、さまざまな社史の長所を探してみようという気持ちになりました。

高—青ちゃんと松っさんは、昨年の社史フェア2014のときは、県立川崎図書館で働きはじめたばかりで、準備期間も約2ヶ月と短い期間でした。今年度は昨年度と比べていかがでしたか。
松—準備期間を長く取れた分、計画や作業を進めやすかったと思います。いろいろなアイデアも盛り込みました。昨年度以上にたくさんの方にいらしていただき、とても嬉しかったです。

（2面に続く）

社史フェア2015 振り返り号

(1面から続く)

高―来場者数は昨年度の倍近くになって、とても嬉しかったです。(表)

青―遠方からいらした方もいました。自社で刊行した社史の写真を撮られている方もいました。社史フェアで展示して喜んでいただけたというのは、開催する甲斐がありますね。

松―デザインにこだわりを持っている社史も多かったですね。

青―デザインから会社や商品をイメージできる社史、というのも好まれていたようです。例えば牛乳のパッケージのような外箱の雪印メグミルクの『日本ミルクコミュニティ史』のような社史はわかりやすいです。

	2014年	2015年
1日目	26名	42名
2日目	36名	52名
3日目	41名	76名
4日目	—	33名
合計	103名	203名

▲去年度と今年度の来場者数の比較。

松―当日はスタッフに声を掛けてくださる方も多く、いろいろな方とお話しできてよかったです。

高―図書館として出来る範囲で社史作成などの相談にも対応しています。こうした相談も増えてきています。

青―アンケートの結果では社史室を知らない方も多く、PR不足を感じました。

高―今年は表示を出すなど、社史室に足を運んでいただく工夫もしましたね。

青―昨年要望が多かったのが今年土曜日も開催してみました。来場者は少なかったのですが、じっくりご覧になりたい方にはよかったです。

高―来年はまた検討しましょう。

青―社史フェアにいらしたきっかけが、友人や同僚に社史フェアのことを聞いたという方も多くて驚きました。

高―今年は社史の編纂に関わっている企業や個人の方々が社史フェアを紹介してくださいました。情報がより多くの方に伝わったようで、うれしかったです。今後も広報へのご協力をいただければ幸いです。

松―投票を望んでいる方もいらつしやいますね。人気のある社史を知りたいという方も多いようです。

社史フェア2015

ピックアップコーナー(1)

【社史フェア スタッフTシャツ】

開催前・開催中にロゴ入りTシャツを着たスタッフに気づかれましたか？有志のスタッフが自費で制作したものです。

昨年度とはデザインも変え、各々の好みでロゴの位置や色などを決めました。

社史を直接担当していないスタッフも着用し、一緒になって社史フェアを盛り上げました。来場者の方からは「Tシャツの販売はしないの？」とお声をいただくなど大好評でした。



高— どういう形になるかはわかりませんが、次回はやってみたいと思います。

青— 配布したリストや展示したパネルに解説がついていることは喜ばれていました。ですが、リストの中から探している一冊を見つけ出すことは難しいようです。次回は索引をつけるというのもいいですね。

高— 今回の社史フェアのアンケートでは『三洋電機社史』や『ライオン120年史』の評判が高かったです。身近な企業というだけではなく、丁寧に書かれている点がポイントでしょうか。

松— 『三洋電機社史』は経営史・商品史と分かれていて、とくに商品史は興味深く、社史を作る上でも参考にしやすい構成だと思います。

青— 『ライオン120年史』は、詳細でビジュアルな社史という印象でした。「広告の変遷や製品の歴史を年代別に見やすく掲載していることに感心した」という来場者からの感想もありました。

松— 堅いイメージのある企業や知名度の低い企業でも、社史を開いてみると、社風や企業の中のおもしろさが伝わってきて、その企業に対するイメージも変わりますね。

高— 今年度の社史フェアでみなさんの印象に残っている社史は何ですか？

松— 私が強く印象に残っているのは、ヨールルト製造の『日本ルナ50年史』です。懐かしいCMソングを思い出して吹き出しを書きました。社史フェア後にもご覧になる方が多かったです。老舗和菓子屋の『両口屋是清昭和平成之覚書』は和菓子の手描きイラストがとても魅力的です。1964年の東京五輪でもオリジナルの和菓子を作っていたようで、2020年の東京五輪でもまた製作されるのだろうかと思っています。産業機器などを扱っている末松九機株式会社の『100周年記念誌』は、社員のつづやきを載せた「sunter」がヒットです。来場者の注目度も高かったです。Twitterをヒントにしているのでしようか。これはタイピングよく使ったな、と思いました。

青— 私は数が多すぎるので次面にて。

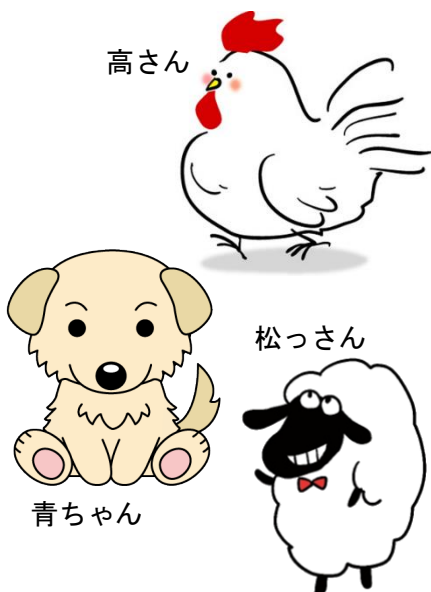
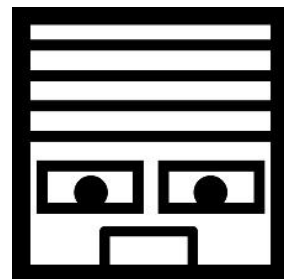
高— 全体として去年と比べると、社員の顔写真を並べたり、集合写真を多く載せたり、本文でも社員の活躍・工夫・エピソードなどを載せたりするなど、「人」が全面に出ている社史が増えたような気がします。

(4面に続く)

社史フェア2015 ピックアップコーナー(2)

【かわとくん】

昨年度から当館の様々な場所に登場している「かわとくん」をご存知ですか？ 実は、社史担当の高さんが当館の建物の外観をモデルに考案したキャラクターです。社史フェアでは、昨年度や今年度のTシャツをはじめ、配布物などにも付けていました。展示していた解説パネルでは表情にいくつかのパターンがあったことに気づかれたでしょうか。館内でもいろいろな場所で活躍していますので、どこかで見かけた際はぜひ注目してみてください。





▲展示中の社史、解説パネル&吹き出しのコメントです。

(3面から続く)

松—ほかにも、社史ができるまで講演会で取り上げた、先ほどの『三洋電機社史』や『ヤクルト75年史』、社史フェア後に講演を開催した『医学書院の70年』も好評でした。さらに、11月に開催する高島屋スペースクリエイツ株式会社の『おかげにて135』ができるまで」も楽しみです。

(科学情報課・松永・高田・青山)

社史フェア2015 ピックアップコーナー (3)

【青ちゃんのオススメ社史】

『大関三百年正史』—大関株式会社はアルコール飲料や食品関係等の製造・販売会社です。この三百年正史は、大学教授が執筆するアカデミックな社史で、三百年の歴史にふさわしい重厚さがあり印象に残りました。

『無限の進歩 アキボウ70年史』—株式会社アキボウは自転車商社です。こちらの社史は社長自らが社史制作に積極的に関わっており、社内報や社員、OBから集められた海外市場での豊富なエピソードには胸躍るような躍動感がありました。

『元社員が書いた50年史』—エッソ石油株式会社(現・東燃ゼネラルグループ)の50年史です。タイトルや本の判型からすでに異彩を放っており、本文からも自由闊達な社風が感じられ読み応えがありました。(社楽31号に紹介)

『40年の軌跡』—株式会社ユニケミーは理化学技術に関する調査や研究を行う会社です。手作り感のある社史で、会社の歴史やエピソードが硬すぎず、少し砕けた感じで描かれていて、アットホームな社史も素敵だなと思います。

『大阪・西淀川中小企業の挑戦』—中小企業で構成される異業種研究会の年史です。加盟する企業が、自社と研究会について語っており、それぞれの思いや顔が見えるところが印象に残りました。

『水澤百年』—建築関係の株式会社水澤工務店の社史です。この百年史は、これまで手掛けてきた建築写真を中心としたシンプルなスタイルでしたが、建築物から素晴らしい仕事ぶりが伝わってくるような洗練された作りが印象に残りました。

●お問い合わせ先 神奈川県立川崎図書館 科学情報課

210-0011 川崎市川崎区富士見2-1-4

電話：044-233-4537 FAX：044-210-1146

<http://www.klnet.pref.kanagawa.jp/kawasaki/index.html>